

事業実績書

令和2年3月27日

団体名 黒谷和紙協同組合

| | |
|---|---|
| 事業の目的 (何のために行う事業なのか など、事業の趣旨や目的を記 入してください。) | 1500年の日本の紙文化を守るとともに、黒谷和紙の伝統産 業の技術継承発展のため。 |
| 事業の名称 | 伝統産業産地振興事業 |
| 事業費 (市補助金) | 3,881,653円 (2,672,000円) |
| 補助金の使途 (団体活動のどんな事業経費 に補助金が充当されるか記入 してください。) | 黒谷和紙の技術の継承発展、後継者技術者の育成 黒谷和紙の広報・PR活動を担える人材の確保 施設及び用具の修理補修 |
| 事業実施期日 | 平成31年4月1日～令和2年3月31日 |
| 事業実施場所 | 綾部市内 |
| 事業の概要 (事業の実施方法、内容につ いて記入してください。) | 紙文化を守るとともに、黒谷和紙の継承発展に努力し、技術 者・後継者の育成に努める。 広報・PR・交流イベントなどの運営、販売促進活動などを担 える人材を確保し配置する。 紙漉き実演、体験、地域交流型イベントの開催や新商品の研 究を行う。 老朽化した施設及び用具の修理補修を行う。 |
| 補助金の効果(成果) (計画書では期待できる効果 を、実績書では得られた成果 を記入してください。) | 今年度も黒谷和紙会館と工芸の里に各1名ずつの人員を配置した。 黒谷和紙会館では、主に事務作業、商品開発などにあたった。具体的 には ・伝統的工芸品の申請に向けた資料作成の補助。 ・内部事務の効率化を図るため商品管理ソフトを導入しこれまで手書 きで行っていた商品管理、帳票出力をパソコンで行う準備を整えた。 |

これにより在庫の管理や事務処理の時間短縮化が見込まれ、他の業務に対応する事が期待できる。令和2年度からの本格的な活用を目指す。

- ・店舗を改装しお客様に手に取っていただきやすいレイアウトにした。

- ・綾部市内の企業（FMあやべ様）とのコラボ商品である和紙ポーチと和紙かがみの企画開発を行った。

- ・痛んでいた桁をピックアップし修理を行うことで製品の品質を保つことができた。

- ・オンラインショップの掲載商品を見直し、より黒谷和紙の魅力を伝える事のできる商品を改めて掲載する準備を整えた。

黒谷和紙工芸の里では主に、開館日のお客様対応、事務処理、楮の処理にあたった。具体的には

- ・夏休みイベント「折り染め和紙でうちわ作り」の企画運営を行った。

- ・売店での工芸の里の限定商品を開発販売。

- ・会館に来られたお客様がより見学しやすいように新しく案内表示の設置を行った。

- ・楮の黒皮をかごそろえ機により白皮への加工を行った。

その他に、北野天満宮や西川株式会社の販売イベントでの実演や鳴川納涼祭での販売、地元でのイベントでの出店や黒谷和紙ともみじ祭などでPRをすることにより令和元年12月末には3500人ほどの来館者にお越しいただくことができた。

様式第4号（第3条及び第7条関係）

収支計算書

令和2年3月27日

団体名 黒谷和紙協同組合

(単位 円)

| | 区 分 | 予算額 | 収入済額 | 明 細 |
|------------------|------------------|-----------|-----------|---------------------|
| | 収 入 の 部 | 市補助金 | 2,672,000 | 2,672,000 |
| 賦課金 | | 192,000 | 264,000 | 24,000円×11名 |
| 産地振興事業 (自己資金) | | 690,000 | 670,653 | |
| 雑収入 | | 246,000 | 275,000 | |
| 合 計 | | 3,800,000 | 3,881,653 | |
| | 区 分 | 予算額 | 支出済額 | 明 細 |
| | 支 出 の 部 | 人件費 | 2,300,000 | 2,132,344 |
| 業務費 | | 500,000 | 424,696 | PRイベント開催、 チラシ作成他 |
| 研究費 | | 320,000 | 53,880 | 研究開発用材料 他 |
| 施設費 | | 650,000 | 1,209,669 | 施設、用具修理費 |
| 雑費 | | 30,000 | 61,064 | |
| 合 計 | 3,800,000 | 3,881,653 | | |
| 差 引 | | | | |